

大丸創業300周年記念企画

京友禅と伝統工芸作家による 伝統となる木

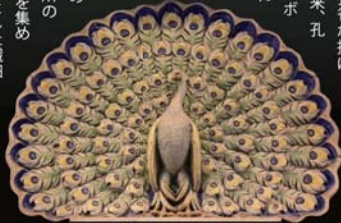
2017年9月13日[水]▶18日[月・祝] 10時~20時 (17日[日]は17時閉場、最終日は18時閉場)

大丸札幌店 7階催事場



訪問着
税込 4,212,000円
(お仕立代別)

大丸創業300周年着物
一九二五(大正一四年)、現在の
大丸大阪・斎橋店の心齋橋筋
中央交差点上部にテラコッタ(陶製)
の孔雀が掲げられました。以来、
孔雀は大丸のシンボルとして使
われてきました。孔雀はファッ
ション性と壮麗さのシンボル
です。
本催事では、ZONEきもの
デザイン研究所の職人の技術の
粋を集め孔雀をモチーフとし
た繊細でエレガントな訪問着
とZONEが初めて手掛ける西陣
織の袋帯などを、大丸300周
年を彩る特別な着物としてご
用意しております。



大丸創業300周年を迎えて
大丸百貨店は「一七二七年(享保二年)」に呉服店「大文字屋」として開業しました。そして今年、創業300周年を迎えることができました。
この節目の年に合わせ、大丸札幌店では、日本の「伝統」を未来に伝えることをテーマに催事を企画いたしました。
是非新しい伝統の始まりをご覧くださいませ。

大丸札幌店



名古屋帯
税込 453,600円 (お仕立代別)



袋帯
税込 1,620,000円 (お仕立代別)



名古屋帯
税込 518,400円 (お仕立代別)

300
SINCE 1717



DAIMARU 札幌店

電話 (011) 828-1111 / 10時~20時 8階レストラン街は11時~22時 〒060-0005 札幌市中央区北5西4-7 www.daimaru.co.jp



「わざをぎ」は現代に日本の伝統芸能を伝える一座です。所属する座員は全員が東京藝術大学出身であり、舞踊家、唄方、三味線方、囃子方、笛方などで構成されています。その名は、日本書紀の中で芸を行うものを表す「俳優(わざをぎ)」を由来としています。これは伝統への回帰と文化の再生を目指し名付けました。江戸時代より磨かれてきた伝統芸能の持つ技や表現を受け継ぎつつ、現代にあったパフォーマンスをお届けします。2017年は結成3年目を記念し、わざをぎの名の由来となる日本書紀を題材に、神話と江戸文化を融合させた歌舞伎舞踊の新作を単独公演「紫鳳會」(10月29日・日本橋劇場)にて発表いたします。

代表 藤間大智
produce by ZONE



わざをぎ



江戸の華・花魁が近代文明と交わり

札幌に時空を超えて舞い降りる 大丸札幌店店内を花魁道中が練り歩き、伝統芸能の妖艶な世界を皆様にご覧に入れます。



イベントスケジュール

9月16日(土)

16:00▶16:20 わざをぎ公演
※踊り10分・トーク10分

16:30▶17:00 ギャラリートーク

9月17日(日)

12:00▶12:30 / 14:50▶15:20
わざをぎ公演

長唄「勸進帳」・舞踊「鳳凰祝大丸」

12:40▶13:10 / 15:30▶16:00

ギャラリートーク

■ ギャラリートーク 「京友禅と工芸品の魅力と後継者問題」

出品作家が立命館大学吉田満梨准教授を迎えギャラリートークを行います。
[登壇者]

伊藤剛史(ZONE きものデザイン研究所代表)

関谷幸英(ZONE きものデザイン研究所職人)

亀井勇樹(樹の鞆作家)・田代聖晃(若手作家)・小林良隆(辻屋草履職人)

岡本好生(西陣織処 雁和)

進行: 吉田満梨

立命館大学経営学部准教授、経済産業省・和装振興会コーディネーターなどを務める。
論文「着物関連市場における新たなセグメントとその特性の分析」など著作多数。



附下グラデーション 色違いあり 税込 518,400円(お仕立代別)



名古屋帯 華紋 一点物
税込 345,600円(お仕立代別)



名古屋帯 華紋 一点物
税込 540,000円(お仕立代別)



名古屋帯 モーリス 一点物 税込 270,000円(お仕立代別)



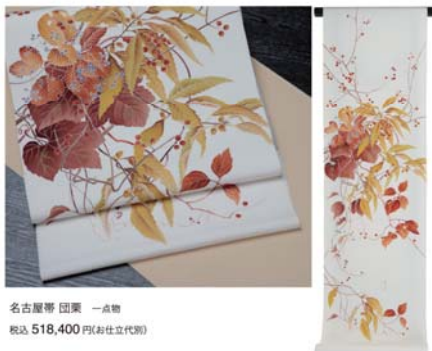
名古屋帯 水玉 一点物 税込 259,200円(お仕立代別)



小紋グラデーション 色違いあり
税込 302,400円
(お仕立代別)



名古屋帯 菊 一点物
税込 313,200円
(お仕立代別)



名古屋帯 団栗 一点物
税込 518,400円(お仕立代別)



ブドウモル簾尺 色違いあり 税込 410,400円(お仕立代別)



小紋オリジナル 一点物 税込 226,800円(お仕立代別)



織名古屋帯
税込 194,400円(お仕立代別)



名古屋帯コード刺繍
税込 302,400円(お仕立代別)



訪問着 菊流水 一点物 税込 993,600円(お仕立代別)

ZONE きものデザイン研究所は、オリジナルの生地や京友禅着物・帯の企画・制作・プロデュースを行っております。ZONE の着物は、京友禅の中でも高い技術を持つ職人を厳選し、伝統的工芸品として認められている手描き友禅と型友禅の技法のみを使って制作しております。

【期間中みの特別提供品】

今回は特別提供品をお仕立て付きでご用意いたします。全ての生地をオリジナルで制作し、上質で着やすい素材となっています。他にもお買い得な商品を数多く取り揃えておりますので、ぜひお来場ください。



地紋無地帯尺 羽根 税込 198,720円(お仕立て付き)



地紋無地帯尺 洋花 税込 213,840円(お仕立て付き)



色無地 限定3反 税込 198,720円(お仕立て付き)



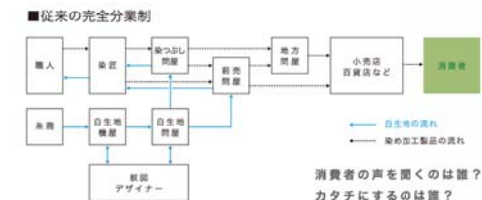
銀糸・白漆糸入り名古屋帯 税込 129,600円(お仕立て付き)

全て
お仕立て
付き

ZONE きものデザイン研究所

「分業」から「協業」へ——本物の京友禅を未来へ繋ぐ——
従来の京友禅は各工程の専門職人による完全分業制でした。近年、後継者不足、デザインのマンネリ化など京友禅の存続は危ぶまれています。そこでZONEは本物の京友禅を未来へ繋ぐためにメーカー機能を活かし、熟練職人の「協業」という新しいシステムを構築しました。

ZONEでは工程ごとに優れた職人を選出した上で、作品ごとに最も適した職人を選んでいきます。代表・伊藤が京都へ何度も足を運び職人をプロデュースし、職人たちのチームになることによって初めて今までに見たことのないスタイリッシュな京友禅が生まれるのです。また、協業制にしたことにより流通経路が単純になり、高品質な本物の京友禅を適正な価格でお客様にお届けできる様になりました。



ZONEきものデザイン研究所
代表
伊藤 剛史 (いとう たけし)
立命館大学文学部京都学専攻特別講師
早稲田大学人間科学術院非常勤講師
1964年生まれ

- 1987年 アウトドアウェア・メーカーに入社。社内では、マーチャンダイザー (MD) を務める。社内でブランドを立ち上げ、OEMなどを経験。
- 1995年 祖父の呉服店を引き継ぎ、京友禅専門ブランド「京友禅不二屋」創業。自らデザインしたオリジナル商品を制作販売。
- 2009年 京友禅の未来のため、京友禅の企画・制作集団「ZONEきものデザイン研究所」設立。優れた職人集団とともに、京友禅ならではの分業制を活かした新しい制作システムを構築。ZONE (伊藤) のデザインが問屋を通し全国の小売店に渡る。
- 2013年 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「京都における工芸の総合的研究」のために立命館大学アートリサーチセンターと共同で着物を3枚制作し調査の協力をする。
- 2014年 ZONEのビジネスモデルが(公財)東京中小企業振興公社の推進事業として選出。ロサンゼルス郊外にあるジョー・D・ブライス邸に向き、若冲ブライスコレクション着物の制作販売認定を直接受ける。
- 2016年 ブライス氏の販売認定をうけ業界初の若冲ブライスコレクション着物を制作し、全国の丸松坂屋百貨店にて催事販売を行い絶大な評価を受ける。業界初、京友禅に品質保証となるARシステムオリジナルアプリ(ZONEきものAR) 開発に、「東京都ものづくり・商業・サービス革新補助金」の認可を受ける。シンポジウム「若冲に見るデザインの先進性」(7月)にパネリストとして登壇。



訪問着 孔雀羽 一点物
税込 1,944,000 円(お仕立代別)



無地着尺 羽根 色違いあり
税込 270,000 円(お仕立代別)



名古屋帯 ステンドガラス 一点物
税込 388,800 円(お仕立代別)

大丸創業 300 周年記念着物

大丸創業 300 周年を記念し、大丸のシンボルである孔雀をデザインに使った着物をご用意いたしました。独自に開発したオリジナル生地を使い、ファッションブルな色無地や帯に加え、華やかな訪問着も制作いたしました。是非この機会にご覧下さいませ。

本来無地着尺は大量に織り上げて生産することが一般的でしたが ZONE では一反一反丹念に織り上げ、今までに無い、浮き出るような地紋を織り上げています。地紋柄は通常より長く流れるようなデザインに織り上げているので、お召しいただくと身長が高く見える効果が御座います。また会場でもお好きな色に別誂が可能です。どうぞこの機会にエレガントな地紋色無地をご覧ください。



無地着尺 羽根唐草 色違いあり 税込 302,400 円(お仕立代別)



訪問着 孔雀 一点物
税込 1,490,400 円(お仕立代別)



現在高い技術を持った職人は徐々に高齢になりつつあります。京友禅はその他の友禅産地と違い分業体制をとっているため、後継者を育成しにくく、技術の継承が深刻な問題となっています。

西陣帯処 雁和 岡本 好生

西陣帯処 雁和のルーツは「琳派」を世に広めた尾形光琳、乾山兄弟の生家である江戸時代の豪商「雁金屋」にたどり着きます。

雁金屋の「雁」を図案化した紋章を引き継ぐ「雁和」その代表者 岡本好生は、400年の時を超え、琳派・尾形光琳の美意識を現代に伝えるべく、洗練された作品を創作しております。

京都・西陣に生まれ育った環境と経験、美意識を生かし、着物とのコーディネートが一番に考え創作された高級帯地をここに披露致します。



草履 辻屋本店職人 小林 良隆

大正元年創業、履物の街・浅草で四代続く和装履物専門店です。花柳界や芸能界、玄人筋を始め、和装にうるさい浅草のお客さまに愛され育てられて百余年。熟練の職人の技で、長く履いても痛くならず、疲れな草履や下駄をあつらえます。本展にあわせオリジナル草履も製作しております。職人が在店 していますので、お気に入りの「台」と「鼻緒」をご自分のお好みで選んでいただき、目の前で挿げすることも可能です。

<http://getaya.jp/>



樹の鞆 *KI NO KABAN 亀井 勇樹

樹の鞆は、1990年に彫刻家・亀井勇樹がオリジナルの工程をつくり出し、完成させた木製のバッグです。創業以来、ひとりですべての工程を手掛けています。カバンという概念を覆し独創性豊かで繊細な作品は、型を持たずすべて「その時」が刻み込まれた作品群。それはシリアルナンバーとして刻まれています。

北海道産の樹齢 180年前後のシナノキを、5~10年ゆっくりと寝かせ、その後、素材から得るインスピレーションで一点一点、彫り、磨き、塗りを繰り返し、長い時間をかけ仕上げていきます。「使う」という目的のもとにつくられた鞆という中に、亀井勇樹の世界観がそのまま詰め込まれています。

<http://www.kinokaban.com/>



伝統工芸 reborn project

— 東京藝大出身の若手作家が生み出す
新しい美術工芸

酒井 望

大学では染織を専攻。卒業後は「未確認生物」をコンセプトに、友禅染めの技術を使ったまだ見ぬ生物を生み出し続けている。その独特の表現と作家自らが未確認生物の確保に向かう様子を写真に収めた、合成ポートレートと共に展開する手法も行っており、伝統工芸の技術から現代アートとしての道も切り開いている。現在 ZONEきものデザイン研究所のデザイナーとして活躍中。



田代 聖晃

アートジュエリー作家として活動。大学在学中から国内コンペティションにて数々の賞を受賞し、若手ジュエリー・工芸作家達のシェアアトリエを立ち上げる。作品コンセプトは主に「人との関わり合い」「既成概念への警鐘」をテーマとし、今までにない提案性溢れた作風で知られる。



大崎 風実

幼少の頃から絵画教室に通い、母と共に陶芸に触れるなど、美術、工芸に広く携わる時期を過ごす。大学では漆芸を専攻し、主に乾漆技法や蒔絵など、伝統的な漆芸技術を中心に学び、動植物や日本の四季から得たインスピレーションを独自の視点で表現。現在は銅版画のエッチング、アクアチント技法を用いて絵画制作も行っている。



宮尾 耕平

伝統的な彫金技法を用いて現代工芸作家として活動。特に金属板に「鏝」という刃で文様を彫刻していく「彫り」の技法に特化した作品で知られる。型にとらわれない現代風の表現でアートと伝統工芸の融合を試みる。近年では自転車好きの経験を活かしてロードバイクのパーツなどに彫りを施した新しい作品も展開中。



近藤 亮平

金工作家。「象嵌」「彫り」などの日本の伝統的な彫金技法を突き詰め、現代のモチーフや図案と組み合わせることで、美術工芸品としての研ぎ澄まされた作品から手に取りやすい温かみある作品まで幅広く提案。若くして日本金工展などでの入選経験も持つ。



畠山 聡

幼い時から絵や工作にのめり込み、自然と美術の道を志すようになる。アートマーケットやアートイベントに出展しながら「鑄造ならではの形」や「多くの人の目に留まるもの」などをコンセプトに、鑄造技法を用いて作品発表を続ける新鋭作家。現在は主にジュエリー作品を中心に制作を行っている。

